

「あすはなカレッジ2018」実施要領

＜ヤングワーカー養成研修＞

2018年8月10日

1 目的

困難を抱える子どもたちを支援する学生などのボランティアが必要とする専門的、あるいは幅広い知識やノウハウを身に付けて、意欲的かつ的確に活動に参加するとともに、支援事業などに対する理解を深め、企画立案や運営等に関わることのできる、若き担い手「ヤングワーカー」を養成する。この「あすはなカレッジ」を実施して、子どもたちへの支援が安定的かつ持続的に遂行できる体制づくりを目指した人材育成を行うとともに、県内全域を対象とすることで、他の団体等の活動も支援することとする。

＜背景＞

現在、こども明日花プロジェクトは子どもの貧困問題に取り組んでおり、小中学生を対象とした無料学習会や居場所づくりを毎週土曜日に開催している。その際、学習ボランティアとして、山口県立大や山口大などの学生が多く、参加、協力してくれている。子どもたちにとっても大学生は年齢の近い「お兄さん、お姉さん」として、気軽に話せる存在であり、とても大切な役割を果たしている。しかしながら、困難を抱える子どもたちへの支援として、学生たちが不安を感じることも多いことから、ある程度の専門性を持ち、継続的な活動が可能なボランティアを養成する必要がある。併せて、社会的課題に取り組むNPO活動への理解を持つ学生を「ヤングワーカー（若き担い手）」として養成する研修を実施し、子どもたちへのよりよい支援の体制づくりを行うものである。

2 事業内容

(1) 対象者

山口県内の大学に在籍する学生（希望があれば、高校生も参加可能）、社会人
合計10人程度 ※原則、全5回に参加できる人。ただし、各回ごとの参加も可能とする。修了証は全期間、参加した人のみ。

(2) 内容

子どもたちへの支援に必要な専門性、社会課題を解決する民間活動に関する知識等を身に付ける講義など、計5回

- ① 子どもの抱える問題（貧困、孤独、自己肯定感喪失）と解決の必要性
- ② 子どもに寄り添うとは（先駆取組事例の紹介）
- ③ ケース研究（スクールソーシャルワーカー）
- ④ ケースワークの手法（心理学、カウンセラー）
- ⑤ 社会課題を解決する民間活動の問題解決力・手法（ファンドレイジングなど）

※内容は参加者の希望により、調整することがある。

講師は県内での実践者や大学教師と、子どもの支援に賛同する企業経営者など。

期間中、参加者は学習会や居場所づくりのボランティアを経験する。

※上記5回以外に、県外先進事例のスタディツアー（倉敷か大津方面1泊2日、参加料1万円予定、希望者のみ）も予定している。

<講師・日程・会場> ※最終調整済み 時間は 13:00~16:30

回	開催予定日	講師①専門家、実践者	講師②：企業、NPO	会場
1	9月29日(土)13:00	県立大 横山順一先生	明日花 児玉頼幸(県職員)	①
2	10月13日(土)13:00	とりで 金本秀韓理事長	(株)池田建設 池田社長	①
3	11月18日(日)13:00	S S W 岩金俊充さん	(株)TAMARU 横岡社長	②
4	12月8日(土)13:00	県立大 大石由起子先生	明日花プロボノ井上貴之さん	②
5	1月19日(土)13:00	明日花 柿沼瑞穂さん		②

(3) 実施期間

平成30年9月から31年1月までの間、計5回(月1回、土・日)1回3時間

- (4) 会場 山口市内 ①「山口市男女共同参画センター」山口市民会館敷地内
②「山口県母子父子福祉センター」湯田温泉駅近く

(5) 参加費

無料

※大学生については、全期間を通して参加する場合のみ、交通費として県内各地から会場までの公共交通機関利用の経費を補助する(JRは在来線利用)。自家用車は対象外。

※県外へのスタディーツアー参加者は参加料が必要。

3 事前説明会

9月初旬「事前説明会」を開催予定。内容は、①こども明日花プロジェクトについて、②本事業の事業目的や内容について。会場等は今後、調整。

4 実施体制

こども明日花プロジェクト(NPO法人山口せわやきネットワーク)が事務局となるが、こども明日花プロジェクトに参加している学生ボランティアや希望する学生などが中心(学生委員会、研修参加も可能)となって事業計画の作成、参加の呼びかけや当日の運営などにも主体的に関わってもらうこととする。

併せて、事務局体制の支援として、一般にもボランティア・スタッフを募集する。講師との交渉や事務処理などは、事務局が行う。

5 募集方法

8月上旬から募集チラシを作成し、メールなども含めて、配布。各大学に送付。ホームページ、facebookなどで発信。(facebookの専用ページ開設予定)記者配布、報道へのPRなど。

6 助成 公益財団法人河村芳邦記念青少年育成財団